



3回	文献検索の方法 「データベースの種類と特徴、主題検索とキーワード検索、検索式、(演習)各種データベースの探索方法と結果表示の読み取り、履歴・絞り込み検索の実際」 泉、越智								
4回	科学的根拠に基づく実践を行うための文献活用 「文献クリティークの方法」 越智								
5回	文献クリティークと実践への活用の検討(1) 「講義開始までに、グループで決定したテーマについて文献検索する。テーマに関連する文献(商業誌、学術雑誌)を3-4編選出する。選出した文献を、クリティークし実践への活用について検討する。」 担当教員全員								
6回	文献クリティークと実践への活用の検討(2) 担当教員全員								
7回	文献クリティークと実践への活用の検討(3) 担当教員全員								
8回	文献クリティークと実践への活用の検討(4) 担当教員全員								
9回									
10回									
11回									
12回									
13回									
14回									
15回									
16回									
17回									
18回									
19回									
20回									
21回									
22回									
23回									
24回									
25回									
26回									
27回									
28回									
29回									
30回									
成績評価方法及び基準									
講義時に提示する課題レポートの内容、及び文献クリティーク時のグループワークへの参加状況や成果として提出されたレポートにより評価する。トータル60点以上を合格とする。									
評価項目と配点									
1. 個人課題レポート1(10点)、2. 個人課題レポート2(10点)、3. グループで選定したテーマに応じた文献の選定(10点)、4. 選定した文献のエビデンスレベルの査定(10点)、5. クリティークポイントに沿った文献クリティーク(20点)、6. エビデンスに基づく実践への適用についての検討(20点)、7. グループ課題レポート(10点)、8. グループワークへの参加状況(10点)の1~8の項目について、それぞれ4段階で評価する(20点配点の項目は2倍する)。①十分できた10点 ②できた8点 ③ あまりできなかった6点 ④ できなかった4点とする。									
教科書	牧本清子、山川みやえ：よくわかる看護研究論文のクリティーク第2版、日本看護協会出版会								
参考図書等	水島昇：科学を育む査読の技法、羊土社								
授業時間外の学習について(授業準備のための指示)									
授業時間外に自己学習として、課題レポートや文献クリティークの個人ワークなどを課すため、毎回1時間程度の学習時間の確保が必要である。									
関連科目									
前科目	115	初学者ゼミ	116	基礎ゼミ					
後科目	451	医学検査研究							
実務家教員									
保健師(行政機関)	越智 百枝	豊田 ゆかり	中平 洋子	奥田 美恵					

看護師（医療機関）	徳永 なみじ	永井 さつき				
臨床検査技師（医療機関）	瀨 智子					
備考						